

標準引越運送約款

(平成二年運輸省告示第五百七十七号)
最終改正 令和六年 国土交通省告示第二百十号

目次

- 第一章 総則(第一条・第二条)
- 第二章 見積り(第三条)
- 第三章 運送の引受け(第四条・第五条)
- 第四章 荷物の受取(第六条・第八条)
- 第五章 荷物の引渡し(第九条・第十二条)
- 第六章 指図(第十三条・第十四条)
- 第七章 事故(第十五条・第十七条)
- 第八章 運賃等(第十八条・第二十一条)
- 第九章 責任(第二十二条・第二十九条)

第一章 総 則

第一条 (適用範囲)

この約款は、一般貨物自動車運送事業により行う引越運送及びこれに附帯する荷造り、不用品の処理等のサービスに適用されます。ただし、事業所等の移転又は当店が提供する定型の容器を用いて定額で行う運送であつてこの約款によらない旨をあらかじめ告知した場合には、適用されません。

この約款に定めのない事項については、法令又は一般の慣習によります。

当店は、前二項の規定にかかわらず、法令に反しない範囲で、特約の申込みに応じることがあります。

第二条 (受付日時)

当店は、受付日時を定め、店頭に掲示し、又は当店のウェブサイトに掲載します。

前項の受付日時を変更する場合は、あらかじめ営業所その他の事業所の店頭に掲示し、又は当店のウェブサイトに掲載します。

第二章 見 積 り

(見 積 り)

第三条 当店は、引越運送及びこれに附帯するサービスに要する運賃及び料金(以下「運賃等」という。)について、試算(以下「見積り」という。)を行います。

- 見積りを行ったときは、次の事項を記載した見積書を申込者に発行します。
 - 一 申込者の氏名又は名称、住所及び電話番号
 - 二 荷受人の氏名又は名称、住所及び電話番号
 - 三 荷物の受取日時及び引渡日
 - 四 発送地及び到達地の地名、地番及び連絡先電話番号
 - 五 運賃等の合計額、内訳及び支払方法
 - 六 解約手数料の額
 - 七 当店の名称、事業許可番号、住所、電話番号、見積り担当者の氏名及び問い合わせ窓口電話番号
 - 八 荷送人及び荷受人並びに当店が行う作業内容
 - 九 その他見積りに関し必要な事項
- 前項第五号の記載については、第三号及び第四号の事項並びに横込み、取卸し、搬出及び搬入作業、荷造り作業、開梱作業等に応じた運賃等の内容とに区分してわかりやすく記載します。
- 見積料は請求しません。ただし、発送地又は到達地において下見を行った場合に限り、下見に要した費用を請求するときは、見積りの際、この場合には、見積りを行う前にその金額を申込者に通知し、了解を得ることとします。
- 当店は、見積りの際に内金、手付金等(前項ただし書の規定による下見に要した費用を除く。)を請求しません。
- 当店は、見積り時に申込者に対して、この約款を提示します。
- 当店は、見積書に記載した荷物の受取日の三日前までに、申込者に対して、見積書の記載内容の変更の有無等について確認を行います。

第三章 運送の引受け

(引受拒絶)

第四条 当店は、次の各号の一に該当する場合には、引越運送の引受けを拒絶することがあります。

- 運送の申込みがこの約款によらないものであるとき。
- 運送に適する設備がないとき。
- 運送に関し申込者から特別の負担を求められたとき。
- 運送が法令の規定又は公の秩序若しくは善良の風俗に反するものであるとき。
- 天災その他やむを得ない事由があるとき。
- 荷物が次に掲げるものであるときは、当該荷物に限り引越運送の引受けを拒絶することがあります。
 - 一 現金、有価証券、宝石貴金属、預金通帳、キャッシュカード、印鑑等荷送人において携帯することのできる貴重品
 - 二 火薬類その他の危険品、不潔な物品等他の荷物に損害を及ぼす恐れのあるもの
 - 三 動植物、ピアノ、美術品、骨重品等運送に当たつて特殊な管理を要するため、他の荷物と同時に運送することに適さないもの
- 申込者が第八条第一項の規定によるその種類及び性質の申告をせず、又は同条第二項の規定による点検の同意を与えないもの

(運送運輸又は利用運送)

第五条 当店は、荷送人の利益を書ししない限り、引き受けた荷物の運送を他の運送機関と連絡して、又は他の貨物自動車運送事業者の行う運送若しくは他の運送機関を利用して運送することがあります。

第四章 荷物の受取

(荷物の受取を行う日時)

第六条 当店は、見積書に記載した受取日時に荷物を受け取ります。

(荷 造 り)

第七条 荷送人は、荷物の性質、重量、容積、運送距離等に応じて、運送に適するように荷造りをしなければなりません。

2 当店は、荷物の荷造りが運送に適さないときは、荷送人に対し必要な荷造りを要求し、又は荷送人の負担により必要な荷造りを行います。

3 前二項の規定にかかわらず、当店は荷送人からの申込みに応じて、荷送人の負担により必要な荷造りを行います。

(荷物の種類及び性質の確認)

第八条 当店は、荷物を受け取る時に、第四条第二項各号に掲げる荷物、貴重品(第四条第二項第一号及び第三号に掲げるものを除く。)、壊れやすいもの、パソコン等の電子機器を含む。第二十四条第二項において同じ。)、変質若しくは腐敗しやすいもの等運送上特段の注意を要するもの有無並びにその種類及び性質を申告することを荷送人に求めま

す。

2 当店は、前項の場合において、その種類及び性質につき荷送人が告げたことに疑いがあるときは、荷送人の同意を得て、その立会いの上で、これを点検することができま

す。

3 当店は、前項の規定により点検した場合において、荷物の種類及び性質が荷送人の申告したところと異ならないときは、このために生じた損害を賠償しま

す。

4 第二項の規定により点検した場合において、荷物の種類及び性質が荷送人の申告と異なるときは、点検に要した費用は荷送人の負担としま

第五章 荷物の引渡し

(荷物の引渡しを行う日)

第九条 当店は、見積書に記載した引渡日に荷物を引き渡します。また、荷物受取時に、引渡日時を荷送人又は荷受人に対して通知します。

(荷受人が不在の場合の措置)

第十条 荷受人が見積書に記載した引渡日に引渡先に不在のおそれのある場合には、あらかじめ荷送人に対し、荷受人に代わつて荷物を受け取る者(以下「代理受取人」という。)の氏名及び連絡先の申告を求めま

す。

2 荷受人が見積書に記載した引渡日に不在であった場合には、当該代理受取人に対する荷物の引渡しをもって荷受人に対する引渡しとみなしま

(引渡しができない場合の措置)

第十一条 当店は、荷受人又は代理受取人(以下「荷受人等」という。)を確認することができないとき、又は荷受人等が荷物の受取を拒んだとき、若しくはその他の理由によりこれを受け取ることができないときは、遅滞なく荷送人に

対し、相当の期間を定めて荷物の処分につき指図を求めま

す。

2 前項に規定する指図の請求及びその指図に従つて行った処分に要した費用は荷送人の負担としま

す。

第十二条 当店は、相当の期間内に前条第一項に規定する指図がないときは、荷物を倉庫営業者に寄託し又は供託し若しくは競売することがありま

す。

3 第一項の規定による処分に要した費用は、荷送人の負担としま

す。

4 当店は、第一項の規定により競売したときは、その代価の全部又は一部を運賃等並びに指図の請求及び競売に要した費用に充当し、不足があるときは、荷送人にその支払を請求し、余剰があるときは、これを荷送人に交付し、又は供託しま

す。

2 当店は、前項の規定により指図に応じないときは、遅滞なくその旨を荷送人に通知しま

第六章 指 図

(指 図)

第十三条 荷送人は、当店に対し、荷物の運送の中止、返送、転送その他の処分につき指図をすることができま

す。

2 前項に規定する荷送人の権利は、荷受人に荷物を引き渡したときは、行使することができま

す。

第十四条 当店は、運送上の支障が生ずるおそれがあると認めるときには、前条第一項の規定による荷送人の指図に応じないことがあります。

2 当店は、前項の規定により指図に応じないときは、遅滞なくその旨を荷送人に通知しま

す。

第十五条 (事故の際の措置)
当店は、荷物の全部の滅失を発見したときは、遅滞なくその旨を荷送人に通知しま

す。

2 当店は、荷物の相当部分の滅失又は全部若しくは相当部分の損傷を発見したとき、又は荷物の引渡しが見積書に記載した引渡日より遅延すると判断したときは、遅滞なく荷送人に対し、相当の期間を定め荷物の処分に

つき指図を求めま

- 3 当店は、前項の場合において、指図を待ったとまがないとき、又は当店の定めた期間内に指図がないときは、荷送人の利益のために、当店の裁量によつて運送の中止又は運送経路若しくは運送方法の変更その他適切な処分をしま
- 4 当店は、前項の規定による処分をしたときは、遅滞なくその旨を荷送人に通知しま
- 5 第二項の規定にかかわらず、当店は運送上の支障が生ずると認める場合には、荷送人の指図に応じないことがあります。
- 6 当店は、前項の規定により指図に応じないときは、遅滞なくその旨を荷送人に通知しま
- 7 当店は、荷物の一部の滅失又は損傷を発見したときは、荷送人の指図を求めずに運送を続行した上で、遅滞なくその旨を荷送人に通知しま
- 8 当店は、荷物の一部が危険品等他の荷物に損害を及ぼすおそれのあることを運送の途上で知ったときは、荷物の取卸しその他運送上の損害を防止するための処分をしま
- 9 前項に規定する処分に要した費用は、荷送人の負担としま
- 10 当店は、第一項の規定による処分をしたときは、遅滞なくその旨を荷送人に通知しま

(事故証明書の発行)

第十七条 当店は、荷物の滅失、損傷又は遅延に関し、証明の請求があつたときは、荷物を引き渡した日(滅失のときは見積書に記載した引渡日)から一年以内に限り、事故証明書を発行しま

第八章 運 賃 等

(運賃及び料金)

第十八条 運賃及び料金並びにその適用方法は、当店が別に定める運賃料金表によりま

す。

2 運賃及び料金並びにその適用方法は、営業所その他の事業所の店頭に掲示し、又は当店のウェブサイトに掲載しま

す。

3 当店は、申し込みを受けた運送に附帯するサービスを行ったときは、これに係る料金を收受しま

す。

第十九条 当店は、荷物を受け取る時に見積書に記載された支払方法により、荷送人から運賃等を收受しま

す。

2 当店は、次の事項を記載した請求書に基づき運賃等を請求しま

す。

一 運賃等の請求相手方の氏名又は名称、住所及び電話番号

二 発送地及び到達地の地名、地番及び連絡先電話番号

三 運賃等の合計額及びその内訳(運賃等の内容とに区分してわかりやすく記載しま

す。)

四 当店の名称、住所、電話番号及び問い合わせ窓口電話番号

五 その他運賃等の収受に関し必要な事項

3 前項各号について、当店は見積書に記載した内容に準拠して記載しま

す。

4 変更が生じた場合は、当該変更に応じた所要の修正を行います。ただし、見積りを行った後に当該内容に前項ただし書の

場合において、変更が生じた結果、実際に要する運賃等の合計額が見積書に記載した運賃等の合計額と異なることとなつた場合の修正については、次の各号に基づき行いま

す。

一 実際に要する運賃等の合計額が見積書に記載した運賃等(以下「見積運賃等」という。)の合計額より少ない場

合、実際に要する運賃等の合計額及びその内容に修正しま

す。

二 実際に要する運賃等の合計額が見積書に記載した運賃等を超える場合、荷送人の責任による事由により見積運賃等の算出の基礎に変化が生じたことに限り、実際に要する運賃等の合計額及びその内容に修正しま

す。

5 当店は、第一項の規定にかかわらず、荷物を引き渡した後に荷受人等から運賃等を收受することを認めることがありま

す。

20条 (事故等と運賃、料金)
当店は、第十三条第一項の規定により処分をしたときは、その処分に要する運賃、料金その他の費用を収

受し、並びに当店が既に行った運送及びこれに附帯するサービスに要した運賃等を收受しま

す。

2 当店は、第十五条第二項及び第三項の規定により処分をしたときは、事故等が荷送人の責任による事由又は荷物の性質若しくは欠陥に

よる生じた場合に限り、当店が既に行った運送及びこれに附帯するサービスに要した運賃等を收受しま

す。

5 第一項、第二項及び第四項の場合において、当店が既にその荷物について運賃等の全部又は一部を收受している場

合には、第一項、第二項又は第四項の規定により当店が收受することとしている金額に充当し、余剰があるときは払い戻しま

す。

第二十一条 (解約手数料又は延期手数料等)
当店は、次号の各号の二つとしま

す。

2 前項の解約手数料又は延期手数料の額は、次の各号のとおりとしま

す。

一 見積書の記載した受取日の前々日に解約又は受取日の延期の指図をしたとき、見積運賃等(料金にあつては、横込み、取卸し、搬出、搬入、荷造り及び開梱に要するものに限る。次号及び第三号において同じ。))の二十パーセント以内

二 見積書に記載した受取日の前日に解約又は受取日の延期の指図をしたとき、見積運賃等の三十パーセント以内

三 見積書に記載した受取日の当日に解約又は受取日の延期の指図をしたとき、見積運賃等の五十パーセント以内

3 解約の原因が荷送人の責任による場合には、解約手数料とは別に、当店が既に実施し、又は着手した附帯サービスに要した費用(見積書に明記したものに限る。))を收受しま

す。

4 第一項ただし書の規定は、前項の費用の収受について準用しま

す。

第二章 責任

第二十一条 (責任と準証等)
当店は、荷物の受取(荷造りを含む。))から引渡し(開梱を含む。))までの間にその荷物その他のものが滅失若しくは損傷し、若しくはその滅失若しくは損傷の原因が生じ、又は荷物が遅延したときは、これによつて生じた損害を賠償する責任を負いま

す。

2 当店は、荷物の荷造りが運送に適さないときは、荷送人に対し必要な荷造りを要求し、又は荷送人の負担により必要な荷造りを行います。

3 前二項の規定にかかわらず、当店は荷送人からの申込みに応じて、荷送人の負担により必要な荷造りを行います。

4 第二項の規定にかかわらず、当該荷物に限り引越運送の引受けを拒絶することがあります。

5 天災その他やむを得ない事由があるときは、当該荷物に限り引越運送の引受けを拒絶することがあります。

6 荷物が次に掲げるものであるときは、当該荷物に限り引越運送の引受けを拒絶することがあります。

7 現金、有価証券、宝石貴金属、預金通帳、キャッシュカード、印鑑等荷送人において携帯することのできる貴重品

8 火薬類その他の危険品、不潔な物品等他の荷物に損害を及ぼす恐れのあるもの

9 動植物、ピアノ、美術品、骨重品等運送に当たつて特殊な管理を要するため、他の荷物と同時に運送することに適さないもの

10 申込者が第八条第一項の規定によるその種類及び性質の申告をせず、又は同条第二項の規定による点検の同意を与えないもの

11 運送に適する設備がないとき

12 運送に関し申込者から特別の負担を求められたとき

13 運送が法令の規定又は公の秩序若しくは善良の風俗に反するものであるとき

14 天災その他やむを得ない事由があるとき

15 荷物が次に掲げるものであるときは、当該荷物に限り引越運送の引受けを拒絶することがあります

16 現金、有価証券、宝石貴金属、預金通帳、キャッシュカード、印鑑等荷送人において携帯することのできる貴重品

17 火薬類その他の危険品、不潔な物品等他の荷物に損害を及ぼす恐れのあるもの

18 動植物、ピアノ、美術品、骨重品等運送に当たつて特殊な管理を要するため、他の荷物と同時に運送することに適さないもの

19 申込者が第八条第一項の規定によるその種類及び性質の申告をせず、又は同条第二項の規定による点検の同意を与えないもの

20 運送に適する設備がないとき

21 運送に関し申込者から特別の負担を求められたとき

22 運送が法令の規定又は公の秩序若しくは善良の風俗に反するものであるとき

23 天災その他やむを得ない事由があるとき

24 荷物が次に掲げるものであるときは、当該荷物に限り引越運送の引受けを拒絶することがあります

25 現金、有価証券、宝石貴金属、預金通帳、キャッシュカード、印鑑等荷送人において携帯することのできる貴重品

26 火薬類その他の危険品、不潔な物品等他の荷物に損害を及ぼす恐れのあるもの

27 動植物、ピアノ、美術品、骨重品等運送に当たつて特殊な管理を要するため、他の荷物と同時に運送することに適さないもの

28 申込者が第八条第一項の規定によるその種類及び性質の申告をせず、又は同条第二項の規定による点検の同意を与えないもの

29 運送に適する設備がないとき

30 運送に関し申込者から特別の負担を求められたとき

31 運送が法令の規定又は公の秩序若しくは善良の風俗に反するものであるとき

32 天災その他やむを得ない事由があるとき

33 荷物が次に掲げるものであるときは、当該荷物に限り引越運送の引受けを拒絶することがあります

34 現金、有価証券、宝石貴金属、預金通帳、キャッシュカード、印鑑等荷送人において携帯することのできる貴重品

35 火薬類その他の危険品、不潔な物品等他の荷物に損害を及ぼす恐れのあるもの

36 動植物、ピアノ、美術品、骨重品等運送に当たつて特殊な管理を要するため、他の荷物と同時に運送することに適さないもの

37 申込者が第八条第一項の規定によるその種類及び性質の申告をせず、又は同条第二項の規定による点検の同意を与えないもの

38 運送に適する設備がないとき

39 運送に関し申込者から特別の負担を求められたとき

40 運送が法令の規定又は公の秩序若しくは善良の風俗に反するものであるとき

41 天災その他やむを得ない事由があるとき

42 荷物が次に掲げるものであるときは、当該荷物に限り引越運送の引受けを拒絶することがあります

43 現金、有価証券、宝石貴金属、預金通帳、キャッシュカード、印鑑等荷送人において携帯することのできる貴重品

44 火薬類その他の危険品、不潔な物品等他の荷物に損害を及ぼす恐れのあるもの

45 動植物、ピアノ、美術品、骨重品等運送に当たつて特殊な管理を要するため、他の荷物と同時に運送することに適さないもの

46 申込者が第八条第一項の規定によるその種類及び性質の申告をせず、又は同条第二項の規定による点検の同意を与えないもの

47 運送に適する設備がないとき

48 運送に関し申込者から特別の負担を求められたとき

49 運送が法令の規定又は公の秩序若しくは善良の風俗に反するものであるとき

50 天災その他やむを得ない事由があるとき

51 荷物が次に掲げるものであるときは、当該荷物に限り引越運送の引受けを拒絶することがあります

52 現金、有価証券、宝石貴金属、預金通帳、キャッシュカード、印鑑等荷送人において携帯することのできる貴重品

53 火薬類その他の危険品、不潔な物品等他の荷物に損害を及ぼす恐れのあるもの

54 動植物、ピアノ、美術品、骨重品等運送に当たつて特殊な管理を要するため、他の荷物と同時に運送することに適さないもの

55 申込者が第八条第一項の規定によるその種類及び性質の申告をせず、又は同条第二項の規定による点検の同意を与えないもの

56 運送に適する設備がないとき

57 運送に関し申込者から特別の負担を求められたとき

58 運送が法令の規定又は公の秩序若しくは善良の風俗に反するものであるとき

59 天災その他やむを得ない事由があるとき

60 荷物が次に掲げるものであるときは、当該荷物に限り引越運送の引受けを拒絶することがあります

61 現金、有価証券、宝石貴金属、預金通帳、キャッシュカード、印鑑等荷送人において携帯することのできる貴重品

62 火薬類その他の危険品、不潔な物品等他の荷物に損害を及ぼす恐れのあるもの

63 動植物、ピアノ、美術品、骨重品等運送に当たつて特殊な管理を要するため、他の荷物と同時に運送することに適さないもの

64 申込者が第八条第一項の規定によるその種類及び性質の申告をせず、又は同条第二項の規定による点検の同意を与えないもの

65 運送に適する設備がないとき

66 運送に関し申込者から特別の負担を求められたとき

67 運送が法令の規定又は公の秩序若しくは善良の風俗に反するものであるとき

68 天災その他やむを得ない事由があるとき

69 荷物が次に掲げるものであるときは、当該荷物に限り引越運送の引受けを拒絶することがあります

70 現金、有価証券、宝石貴金属、預金通帳、キャッシュカード、印鑑等荷送人において携帯することのできる貴重品

71 火薬類その他の危険品、不潔な物品等他の荷物に損害を及ぼす恐れのあるもの

72 動植物、ピアノ、美術品、骨重品等運送に当たつて特殊な管理を要するため、他の荷物と同時に運送することに適さないもの

73 申込者が第八条第一項の規定によるその種類及び性質の申告をせず、又は同条第二項の規定による点検の同意を与えないもの

74 運送に適する設備がないとき

75 運送に関し申込者から特別の負担を求められたとき

76 運送が法令の規定又は公の秩序若しくは善良の風俗に反するものであるとき

77 天災その他やむを得ない事由があるとき

78 荷物が次に掲げるものであるときは、当該荷物に限り引越運送の引受けを拒絶することがあります

79 現金、有価証券、宝石貴金属、預金通帳、キャッシュカード、印鑑等荷送人において携帯することのできる貴重品

80 火薬類その他の危険品、不潔な物品等他の荷物に損害を及ぼす恐れのあるもの

81 動植物、ピアノ、美術品、骨重品等運送に当たつて特殊な管理を要するため、他の荷物と同時に運送することに適さないもの

82 申込者が第八条第一項の規定によるその種類及び性質の申告をせず、又は同条第二項の規定による点検の同意を与えないもの

83 運送に適する設備がないとき

84 運送に関し申込者から特別の負担を求められたとき

85 運送が法令の規定又は公の秩序若しくは善良の風俗に反するものであるとき

86 天災その他やむを得ない事由があるとき